

発行所

株式会社FPシミュレーション

大阪市中央区平野町3-1-10 Tel :06-6209-7678

編集発行人:税理士 三輪 厚二 Fax :06-6209-8145

## ◇ デット・エクイティ・スワップの与える影響

**Q** : 最近、デット・エクイティ・スワップ (DES) の実施例が急増しているようですが、効果がある反面、留意すべき点もあると聞きます。どういった点に留意しないといけないのでしょうか？

**A** : DESの実施により資本金が増えるため、住民税や来年4月から実施される事業税の外形標準課税など、資本金をベースに課税される税額が増加することがあります。

### 【解説】

DESとは、銀行等が貸付先企業に対してその債権を現物出資することと引き換えにその貸付先企業の株式を取得する、いわゆる「負債と資本の交換」取引をいいます。貸付先企業にとっては負債を圧縮でき借入金の利息負担も減少するといった効果があるため、最近では、経営危機に陥った貸付先企業の実質的な救済策として実施されることが多いようです。しかし、効果のある反面、税負担が多くなるといった問題もあります。

たとえば、法人住民税の「均等割」。資本金額に応じて税額が定められているため、DES実施により資本金が増えると、それに伴い、住民税額も増加する場合があります。

また、来年4月実施予定の事業税の外形標準課税についても、資本等の額を課税標準とする「資本割」が設けられているため、住民税同様、DESの実施により税負担が増加することがあります。

DESの実施にあたっては、債務圧縮効果と税負担との比較検討が必要です。

